

遠隔合同授業はじめの一步

令和2年3月19日発行



北海道 占冠村立占冠中央小学校



福島県 富岡町立富岡第一小学校

福島県富岡町立富岡第一小学校から「北海道の小学校と遠隔合同授業を行いたい」と道研あてに依頼がありました。道研では、接続先として占冠村立占冠中央小学校を紹介するとともに、日程等の調整や機器に関する支援、事前打合せ等のファシリテーションを行い、遠隔合同授業が実現しました。

福島県と北海道の小学校を接続した遠隔合同授業の様子

教科、単元名 第5学年社会科「わたしたちの国土・寒い土地の暮らし」

学習のねらい 寒い地方に住んでいる地域の人々の生活について、自然条件を比較し生活についての理解を深める。

①本時の目標の確認（接続せず各校で実施）

②発表交流の流れの確認（接続）

占冠中央小学校

富岡第一小学校



簡単な自己紹介後、富岡第一小学校の先生が、本時の発表交流の流れを確認しました。

③占冠中央小学校の発表、質疑応答



占冠:この角度で見えるかな？
富岡の皆さん見えますか？

富岡:もう少し右！
あ、見えました！

占冠:これは北海道の家の玄関フードの写真です。

富岡:福島では見たことがないな。何のためにあるのかな。メモしておこう。



④富岡第一小学校の発表・質疑応答



富岡:北海道と福島を比較してみました。約800kmも離れていますが、面積が広いことなど、共通点もありますよ。

占冠:本当だ。比較してみるとよく分かるんだな。



⑤本時のまとめ

占冠中央小学校

富岡第一小学校



占冠中央小学校の先生がまとめを行い、子どもたちが感想を発表しました。

⑥振り返り（接続せず各校において実施）

児童の感想

○ 占冠を知らない人に、何をどのように伝えれば分かってもらえるかを意識して調べ活動や準備をすることができた。（占冠）

○ 相手にその場で直接質問できるので、お互いの地域のことがよく分かった。（占冠）

○ 相手の発表を聞く時に、分かったことと分からなかったことをメモしたので、質問しやすかったです。（富岡）

○ 北海道との比較をとり入れながら紹介することで、画面の向こうの相手に伝わるように発表できた。（富岡）

先生の感想

○ 画面の向こうの子どもたちと協働的に学習することができ、対話的に学ぶ機会を得ることができた。（占冠）

○ 遠隔合同授業は、多様な意見に触れる機会が少ない小規模校の課題解決を図る方策になると思う。（占冠）

○ 北海道と比較することを通して、子どもが自分の住む県についてより詳しく知るきっかけになった。（富岡）

○ 単なる調べ学習をするよりも、遠隔で学び合う学習活動のほうが実感を伴う理解につながる。（富岡）

遠隔合同授業が生み出す学習効果

○ **遠隔合同授業を継続することにより身に付く「話の中心を捉え、自分の考えをもつ力」**

占冠中央小の児童が発表したり質問に答えたりする際、富岡第一小の児童は熱心にメモを取り、そのメモを見てよく考えてから発言していました。

富岡第一小の児童は、日常的に遠隔合同授業を行うことをとおして、相手の話の中心を捉えるために必要なことや分からないことをメモしながら聞き、メモを基に自分の考えを整理し、必要があれば相手に再び質問をするなどして、自分の考えを再構築する力を身に付けたと考えられます。

○ **遠隔合同授業で高まる「相手意識をもって伝える力」**

両校の児童の授業後の感想から、初めて共に学ぶ、遠隔地にいる相手に伝わるように、発表の内容等を工夫したことが分かります。

実際の発表では、実物や動画、スライド資料を示しながら「～のことは知っていますか。」と尋ね、相手が知らないことについては丁寧に説明するなど、相手のことを踏まえて伝えようとする姿が見られました。

「やってみたい！」と思ったら・・・

まずは道研にお問合せください。

Tel: 011-386-4511（代表）

遠隔合同授業の実施に向けたサポート例

- ・ 内容及び日程等の連絡調整
- ・ Web会議システム接続環境の提供
- ・ 事前打合せ等のコーディネート
- ・ 接続のサポート、接続テスト 等

道研「未来の教室」では、
遠隔合同授業を体験したり、遠隔合同授業の
ポイントについて研修したりすることができます。



クリックまたは



読み取り

遠隔合同授業の実践事例については、道研の研究成果報告

「へき地・小規模校を輝かせる教員研修の在り方に関する
調査研究報告書 令和2年（2020年）2月」にも掲載しています。

クリックまたは



読み取り